
つくばちびっ子博士2005

企画調整部 情報資料課

つくば市と筑波研究学園都市交流協議会の共催による「つくばちびっ子博士」事業は今年で7回目を迎え、当所も参加した。この事業は、夏休み期間を中心に全国の小中学生を対象に、参加機関での研究を見学や体験教室などで身近にふれることによって科学に興味を持ってもらおうと企画されている。

農業環境技術研究所では、今年4月にオープンしたインベントリー展示館の昆虫展示室を会場とし、環境問題を身近に考えてもらおうと、畑や田んぼに棲む昆虫を含む多様な昆虫標本・研究成果や昆虫の進化や体のつくりなどに関するパネルなどの展示に加え、近郊の川から採集したフナやタナゴなどの川魚の展示とペットボトルを利用した川魚の仕掛けやメダカの飼育器の作り方を学習してもらった。

9月第1週までに小中学生は44名、付添いの父母等を含めると100名以上が来所した。昆虫や魚が大好きなので昨年に引き続き来訪したという小学生もあり、メダカの飼育器をもらい喜んで帰る子供達の姿が印象に残った。ぜひ身近な生物の飼育を通して環境について考えて欲しいと考えている。



夏休み期間中元気に子供たちを迎えた川魚



子供たちの視線の先はペットボトルの手作り飼育器で飼育中のメダカ